
伊勢崎佐波地区 景気動向調査

No.64 2019.1~3月期

Contents

- 概況 …… 業況判断D.I.は3期連続で改善
来期も緩やかな改善を予想
- 特別調査 …… 中小企業におけるインターネット利用と
キャッシュレスへの対応について

 伊勢崎商工会議所

 アイオー信用金庫

調査方法について

伊勢崎商工会議所とアイオー信用金庫が共同し、伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業386社にご協力いただき、面談または聴取りによる調査の回答を集計したものです。

製造業、卸売業、小売業、建設業、サービス業の5つの業種について3か月ごとに景気の動きを調査し、最新の動きをまとめております。

独立行政法人中小企業基盤整備機構並びに日本商工会議所の実施する全国規模の調査結果を一部引用しております。また、毎回テーマを設け「特別調査」を実施しております。

今回の調査について

調査時期	2019年3月
調査内容	① 今期の状況：前年の同時期（2018年1月～3月）と比較した今期（2019年1月～3月）の状況及び前期（2018年10月～12月）と比較した今期の状況。 ② 来期の見通し：前年の同時期（2018年4～6月）と比較した来期（2019年4月～6月）の見通し。
調査方法	伊勢崎商工会議所及びアイオー信用金庫の調査員による面談または聴取り調査
調査対象企業数	伊勢崎市及び佐波郡玉村町内の企業 386社
回答企業数	367社
回答企業業種別内訳	下表のとおり

業種	回答企業数	調査対象企業数	回答率
製造業	111	117	94.9%
卸売業	26	29	89.7%
小売業	91	93	97.8%
建設業	59	61	96.7%
サービス業	80	86	93.0%
合計	367	386	95.1%

調査結果の分析について

調査結果の分析には、判断指数（Diffusion Index—D.I.）を用いております。この判断指数（D.I.）とは、「良い」とする回答数から「悪い」とする回答数を引き、全体に占める割合を算出したもので、この指数の変動により、景気の動いている方向を判断するために用いられます。

1. 業況

業況判断 D.I. は 3 期連続で改善、来期も緩やかな改善を予想

今期（2019.1~3）の企業の景況感を示す全業種の業況判断 D.I. は $\Delta 3.0$ と前期（2018.10~12： $\Delta 5.0$ ）との比較で 2.0 ポイント改善、3 期連続で持ち直しの動きが見られました。業種別の業況判断 D.I. では建設業、サービス業を除く業種で改善となりました。

独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施し、日本商工会議所他 2 団体が実施した全国調査（以後「全国調査」という。）との比較では、全業種の業況判断 D.I. は全国調査を 17.1 ポイント上回っているほか、全ての業種で全国調査を上回る結果となっています。

来期（2019.4~6）の業況判断 D.I. の見通しは $\Delta 2.5$ と依然としてマイナス判断が続くものの、今期（2019.1~3： $\Delta 3.0$ ）との比較で 0.5 ポイント改善するとしています。業種別では製造業以外の業種で改善を予想しているほか、項目別でも売上、採算、従業員増減、全ての判断 D.I. で改善するとしています。

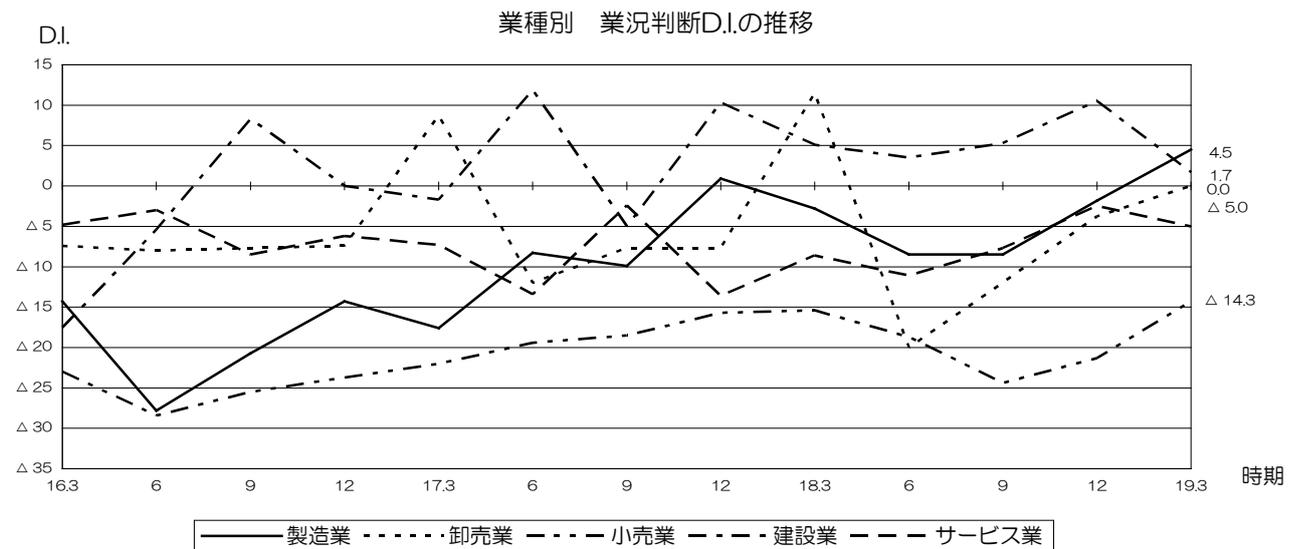
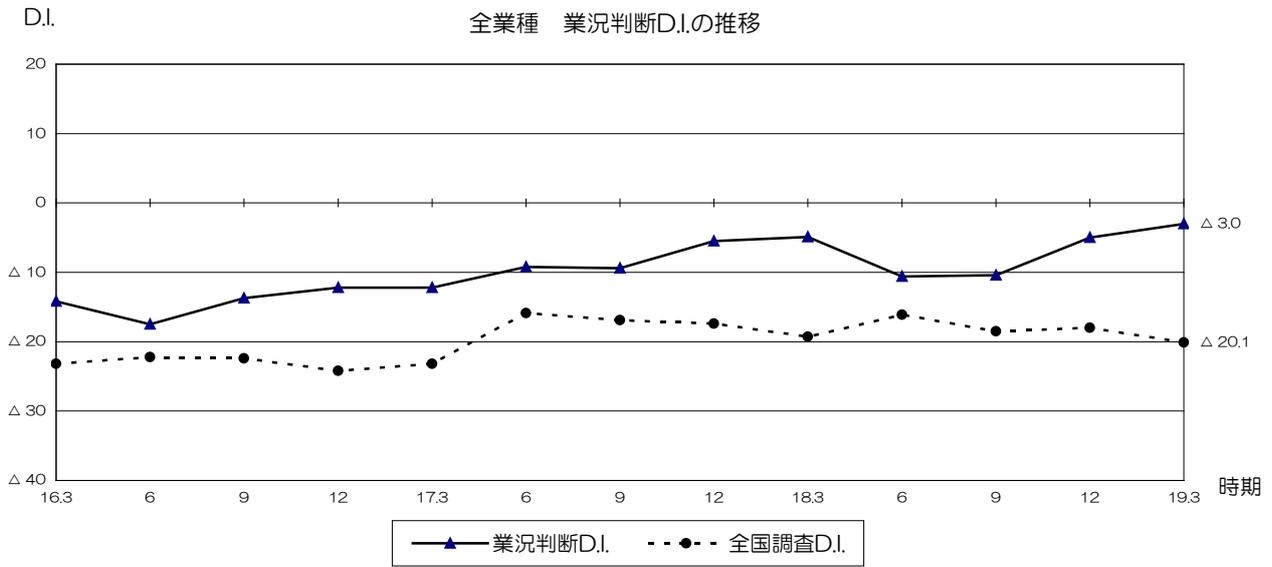
業 種 別 天 気 図

	前 期 2018.10~12月	今 期 2019.1~3月	全 国 調 査 2019.1~3月	来 期 見 通 し 2019.4~6月
全 業 種				
製 造 業				
卸 売 業				
小 売 業				
建 設 業				
サ ー ビ ス 業				

（この天気図は、景気指標を総合的に判断し作成したものです。また、全国調査は日本商工会議所の調査によるものです。）



2. 業況判断D.I.の推移



(対前年同期比判断D.I.)

	前 期 2018.10~12	今 期 2019.1~3	全 国 調 査 2019.1~3	来 期 見 通 し 2019.4~6
全 業 種	△5.0	△3.0	△20.1	△2.5
製 造 業	△1.8	4.5	△18.2	0.0
卸 売 業	△3.8	0.0	△20.1	7.7
小 売 業	△21.3	△14.3	△32.2	△9.9
建 設 業	10.5	1.7	△4.3	3.4
サ ー ビ ス 業	△2.5	△5.0	△18.5	△5.0

(全国調査は日本商工会議所の調査によるものです)

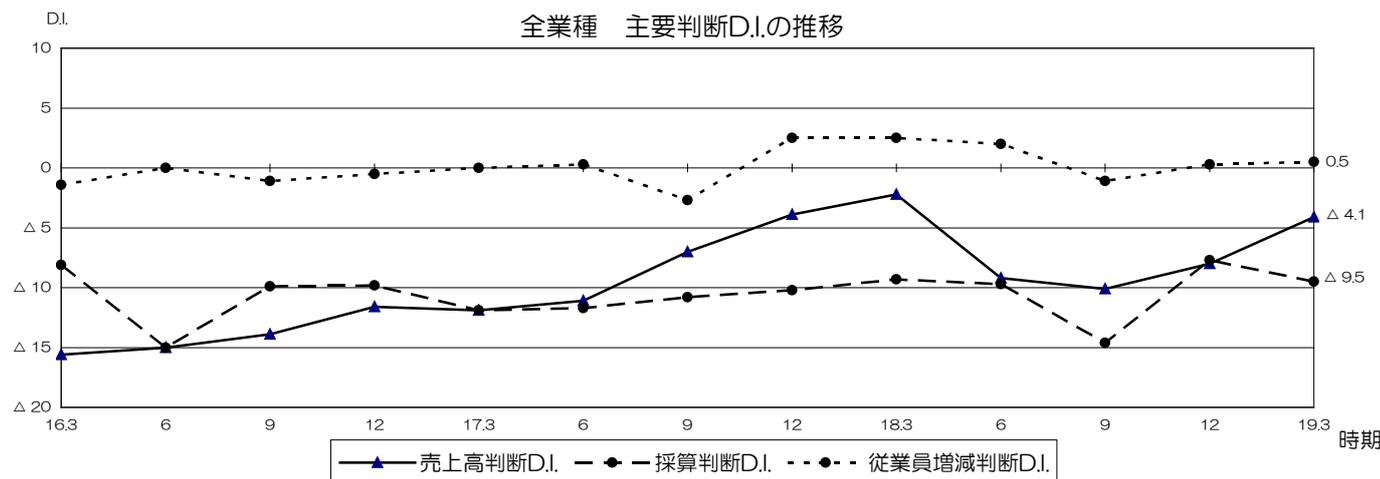
3. 売上高、採算、従業員増減の状況

(対前年同期比判断D.I.)

今期（2019.1～3）の売上高判断D.I.は $\Delta 4.1$ と、前期（2018.10～12）との比較で3.9ポイント改善しています。また、従業員増減判断D.I.は0.2ポイント改善しましたが、採算判断D.I.では1.8ポイントの悪化となりました。

	前 期	今 期	来期見通し
売上高	$\Delta 8.0$	$\Delta 4.1$	$\Delta 1.9$
採 算	$\Delta 7.7$	$\Delta 9.5$	$\Delta 7.1$
従業員増減	0.3	0.5	1.7

来期（2019.4～6）の売上高判断D.I.は $\Delta 1.9$ と、今期（2019.1～3）との比較で2.2ポイント改善すると見通しているほか、採算判断D.I.で2.4ポイント、従業員増減判断D.I.でも1.2ポイントの改善を予想しています。



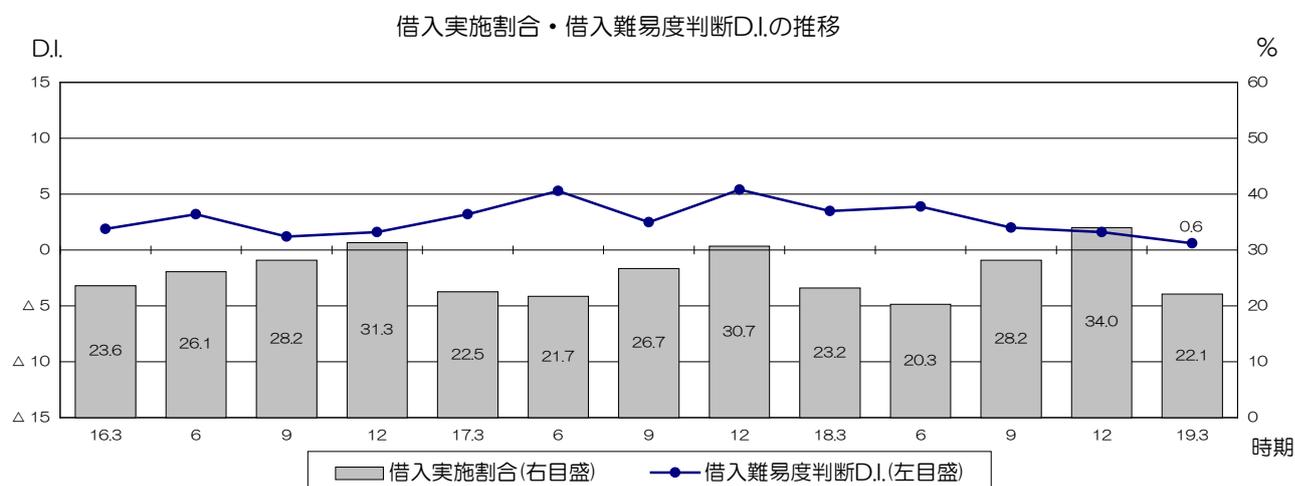
4. 借入金の状況

今期（2019.1～3）借入を実施した企業の割合は22.1%と、前期（2018.10～12）との比較で11.9ポイント減少しました。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	34.0%	22.1%	16.4%
借入難易度判断D.I.	1.6	0.6	

来期（2019.4～6）借入を予定する企業の割合は16.4%と、今期（2019.1～3）との比較で5.7ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期（2019.1～3）0.6と、前期（2018.10～12）との比較で1.0ポイント悪化しています。



1. 業況

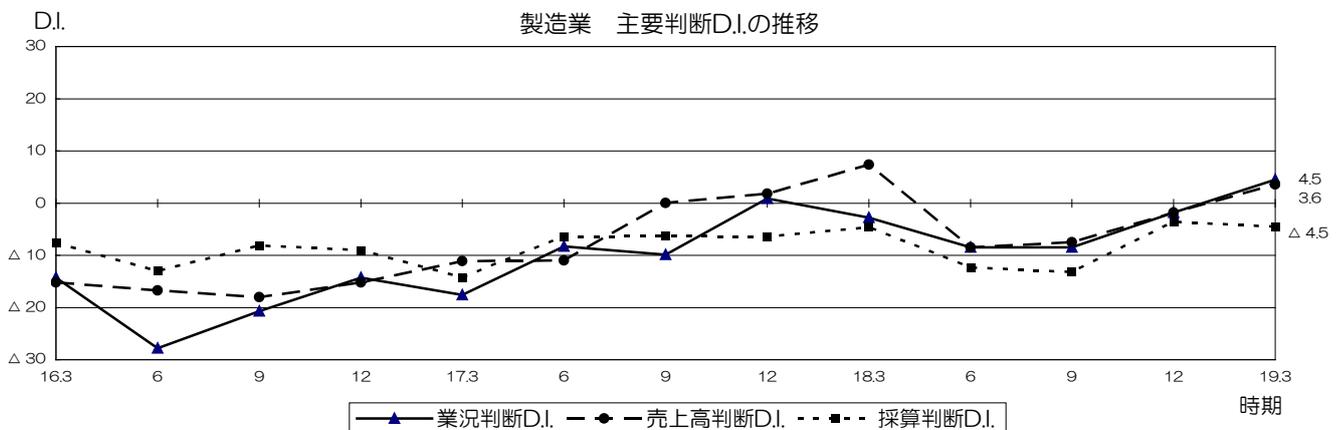
今期 (2019.1~3) の業況判断 D.I.は 4.5 と、前期 (2018.10~12) との比較で 6.3 ポイント改善しているほか、売上高、資金繰りで前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 18.2$ を 22.7 ポイント上回っているほか、原材料仕入単価、原材料在庫を除く項目で全国調査の判断 D.I.を上回る結果となりました。

来期 (2019.4~6) の業況判断 D.I.は 0.0 と、今期 (2019.1~3) との比較で 4.5 ポイントの悪化を予想しているものの、採算、原材料仕入単価以外の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 1.8$	4.5	$\Delta 18.2$	0.0
売上(加工)高	$\Delta 1.8$	3.6	$\Delta 16.9$	4.5
資金繰り	$\Delta 2.7$	$\Delta 0.9$	$\Delta 12.5$	1.8
採 算	$\Delta 3.6$	$\Delta 4.5$	$\Delta 22.7$	$\Delta 4.5$
原材料仕入単価	25.5	17.1	50.3	16.2
原材料在庫	$\Delta 0.9$	$\Delta 6.3$	$\Delta 3.3$	$\Delta 3.6$
従業員増減	7.3	3.6	$\Delta 2.2$	8.1
設備操業率	2.7	0.0	$\Delta 10.7$	4.5



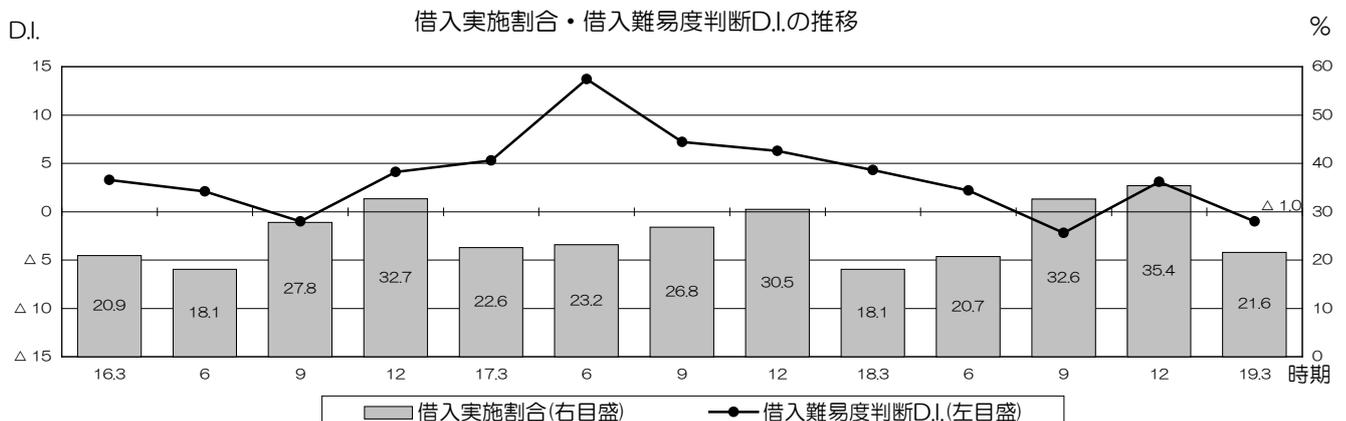
2. 借入金の状況

今期 (2019.1~3) 借入を実施した企業の割合は 21.6%と、前期 (2018.10~12) との比較で 13.8 ポイント減少しました。

来期 (2019.4~6) 借入を予定する企業の割合は 12.4%と、今期 (2019.1~3) と比較して 9.2 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2019.1~3) $\Delta 1.0$ と、前期 (2018.10~12) との比較では 4.1 ポイント悪化しています。

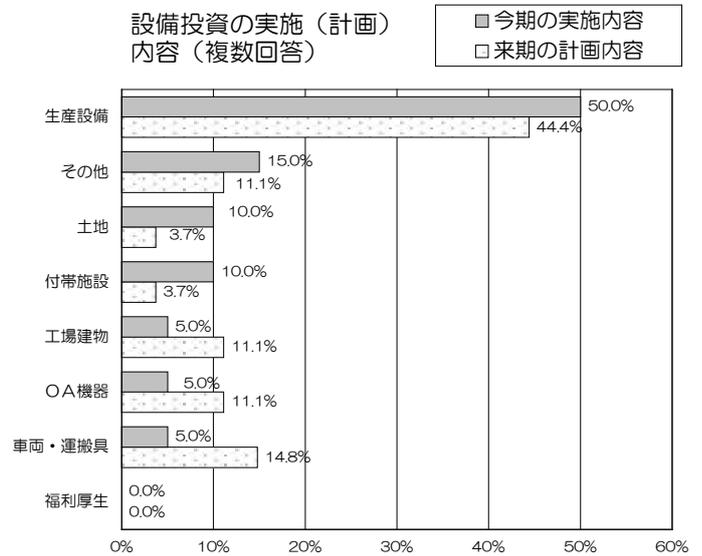
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	35.4%	21.6%	12.4%
借入難易度判断 D.I.	3.1	$\Delta 1.0$	



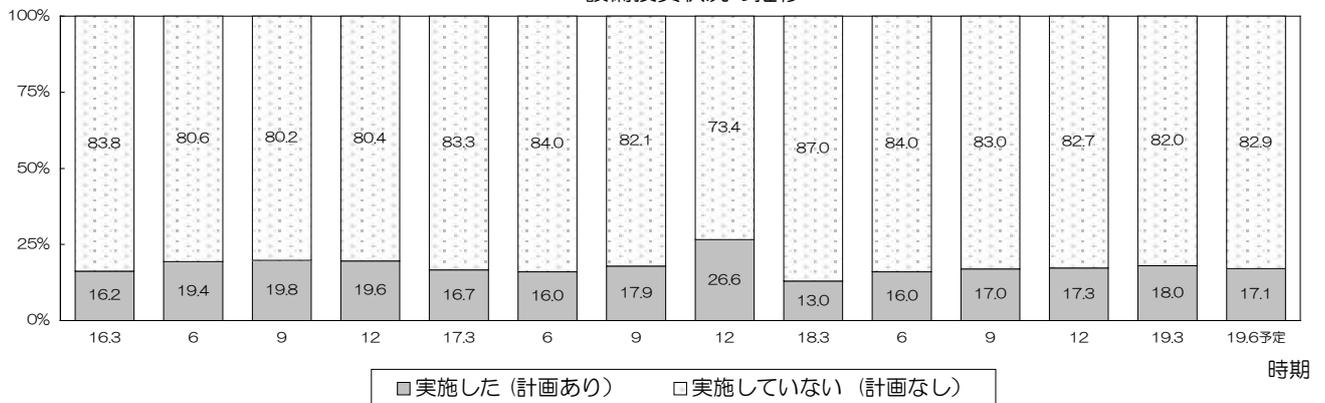
3. 設備投資の状況

今期（2019.1～3）設備投資を実施した企業の割合は18.0%と、前期（2018.10～12：17.3%）との比較で0.7ポイント増加しました。設備投資の内訳は、生産設備が50.0%、その他が15.0%、土地、付帯施設が各々10.0%でした。

来期（2019.4～6）設備投資を計画する企業の割合は17.1%と、今期（2019.1～3）と比較して0.9ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、生産設備が44.4%、車両・運搬具が14.8%、その他、工場建物、OA機器が各々11.1%となっています。



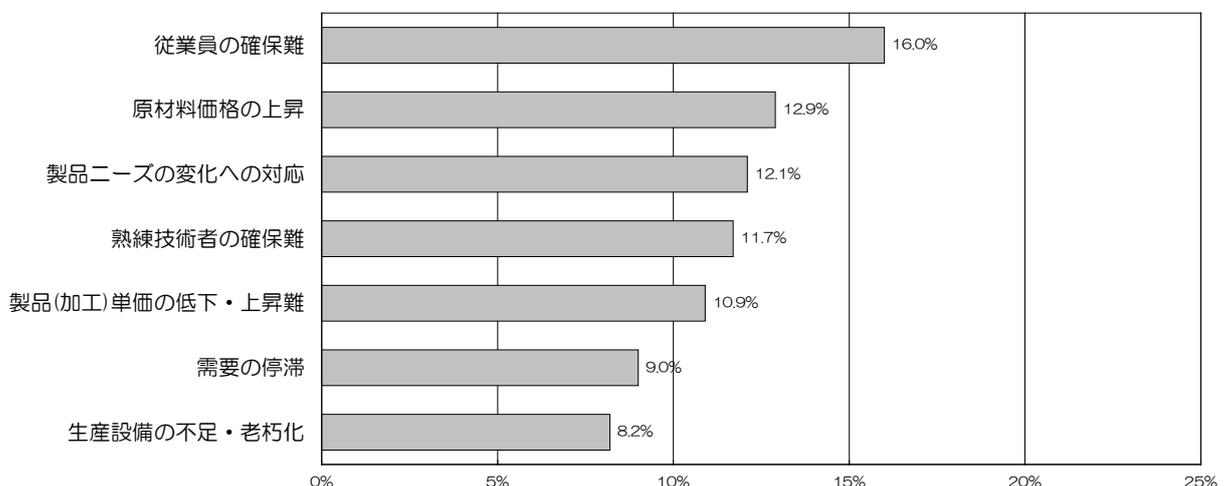
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「従業員の確保難」で16.0%、第2位が「原材料価格の上昇」で12.9%、第3位が「製品ニーズの変化への対応」で12.1%、第4位が「熟練技術者の確保難」で11.7%、第5位が「製品（加工）単価の低下・上昇難」で各々10.9%、第6位が「需要の停滞」で9.0%、第7位が「生産設備の不足・老朽化」で8.2%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

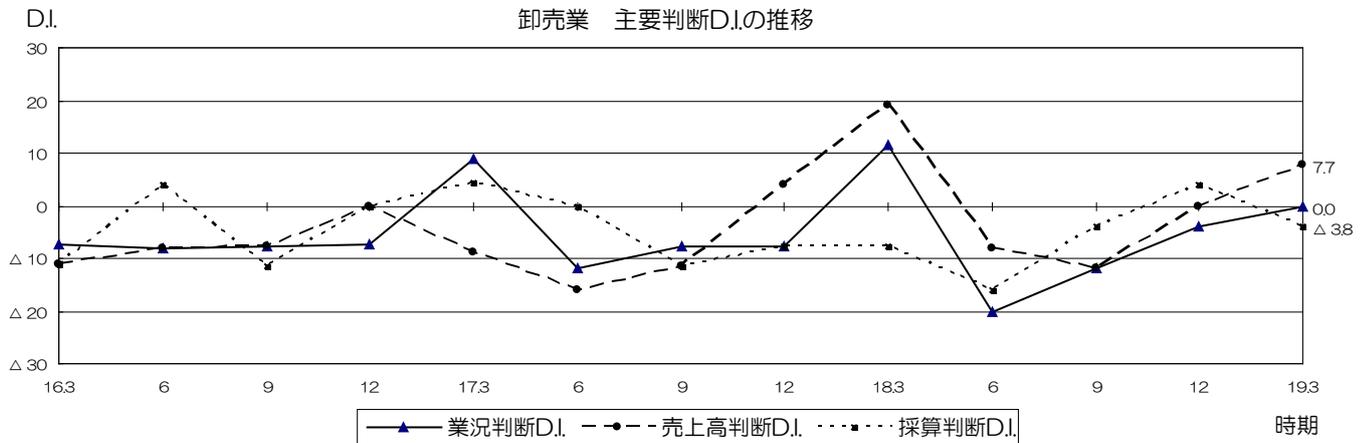
今期 (2019.1~3) の業況判断 D.I. は 0.0 と、前期 (2018.10~12) との比較で 3.8 ポイント改善しているほか、売上単価、仕入単価、従業員増減の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I. で全国調査の $\Delta 20.1$ を 20.1 ポイント上回っているほか、売上単価、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I. を上回る結果となりました。

来期 (2019.4~6) の業況判断 D.I. は 7.7 ポイントの改善が予想されるものの、資金繰り、仕入単価以外の項目で今期を下回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 3.8$	0.0	$\Delta 20.1$	7.7
売 上 高	0.0	7.7	$\Delta 19.2$	0.0
資 金 繰 り	7.7	$\Delta 3.8$	$\Delta 10.7$	$\Delta 3.7$
採 算	3.8	$\Delta 3.8$	$\Delta 22.2$	$\Delta 7.7$
売 上 単 価	0.0	0.0	7.3	$\Delta 3.8$
仕 入 単 価	15.4	19.2	36.8	19.2
在 庫 数 量	3.8	3.8	$\Delta 12.3$	0.0
従 業 員 増 減	$\Delta 11.5$	7.7	$\Delta 1.6$	3.8



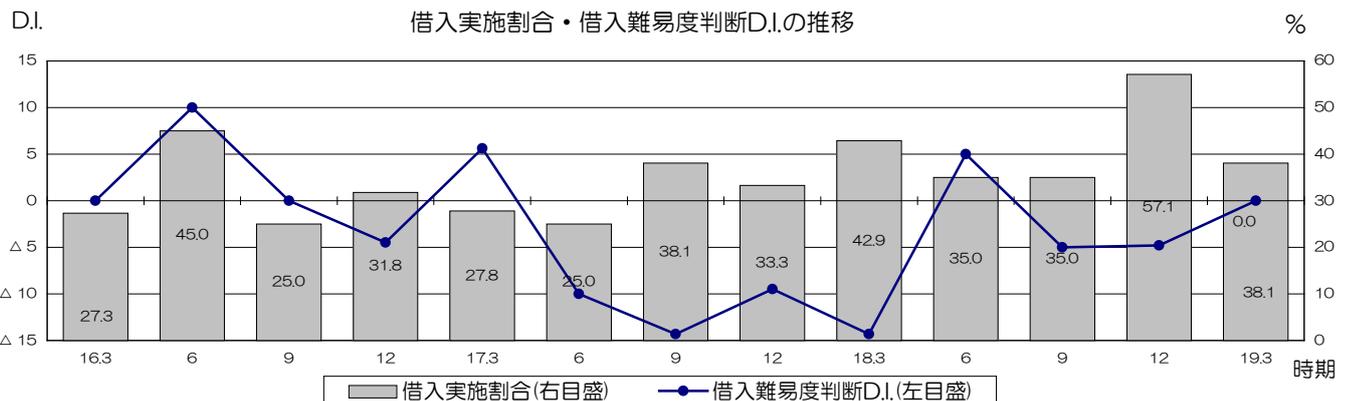
2. 借入金の状況

今期 (2019.1~3) 借入を実施した企業の割合は 38.1% と、前期 (2018.10~12) との比較で 19.0 ポイント減少しました。

来期 (2019.4~6) 借入を予定する企業の割合は 42.9% と、今期 (2019.1~3) と比較して 4.8 ポイント増加する見込みです。

借入難易度判断 D.I. は今期 (2019.1~3) 0.0 と、前期 (2018.10~12) との比較では 4.8 ポイント改善しています。

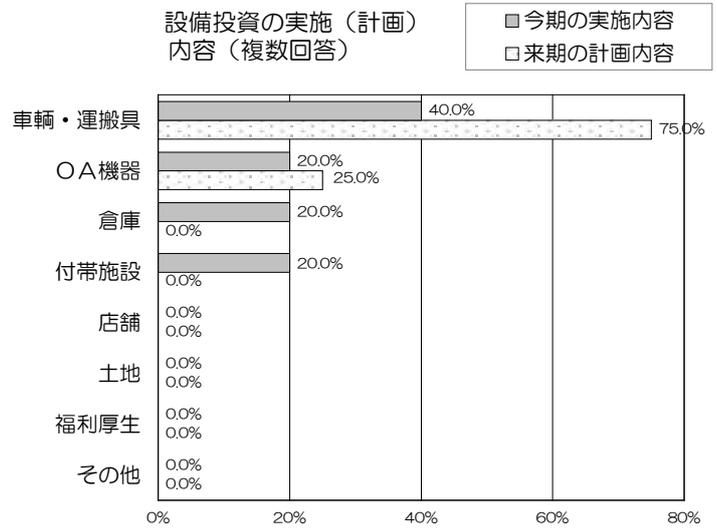
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	57.1%	38.1%	42.9%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 4.8$	0.0	



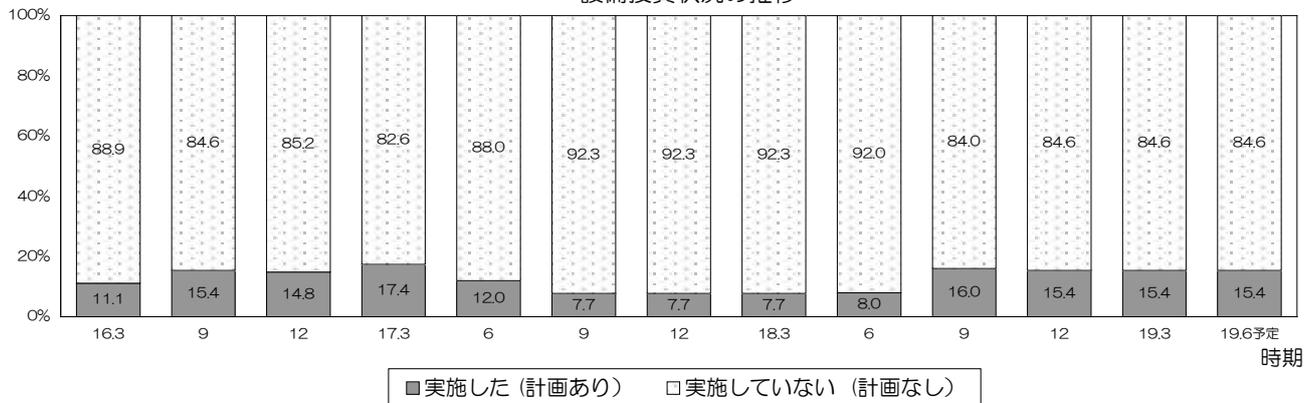
3. 設備投資の状況

今期（2019.1～3）設備投資を実施した企業の割合は15.4%と、前期（2018.10～12：15.4%）との比較で変化がありません。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が40.0%、OA機器、付帯施設、倉庫が各々20.0%でした。

来期（2019.4～6）設備投資を計画する企業の割合は15.4%と、今期（2019.1～3）との比較で変化がない見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が75.0%、OA機器が25.0%となっています。



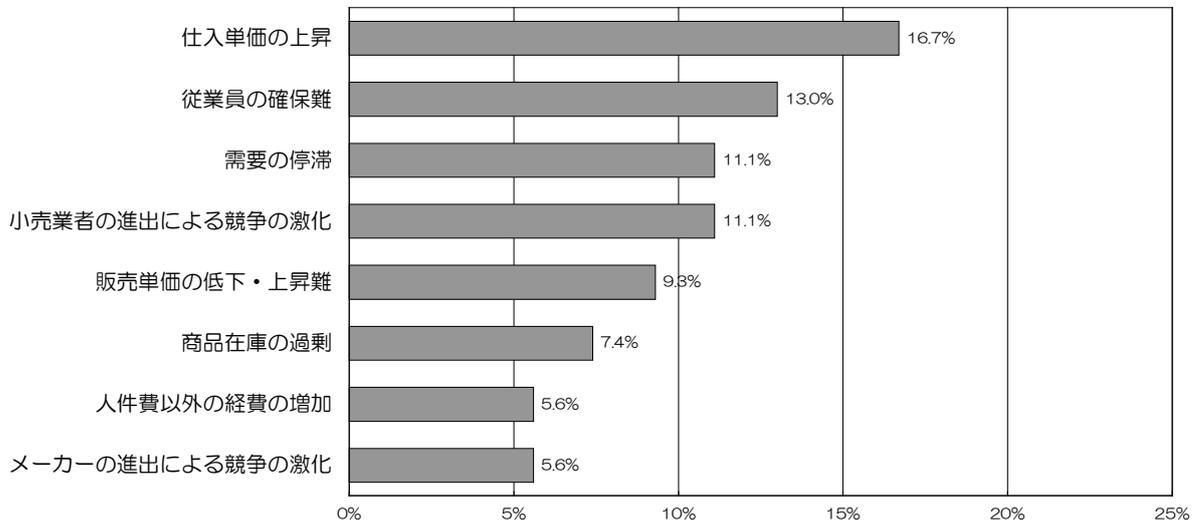
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「仕入単価の上昇」で16.7%、第2位が「従業員の確保難」で13.0%、第3位が「需要の停滞」「小売業者の進出による競争の激化」で各々11.1%、第4位が「販売単価の低下・上昇難」で9.3%、第5位が「商品在庫の過剰」で7.4%、第6位が「人件費以外の経費の増加」「メーカーの進出による競争の激化」が各々5.6%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



小売業

2019.1~3月期 (回答91社・・・回答率97.8%)

1. 業況

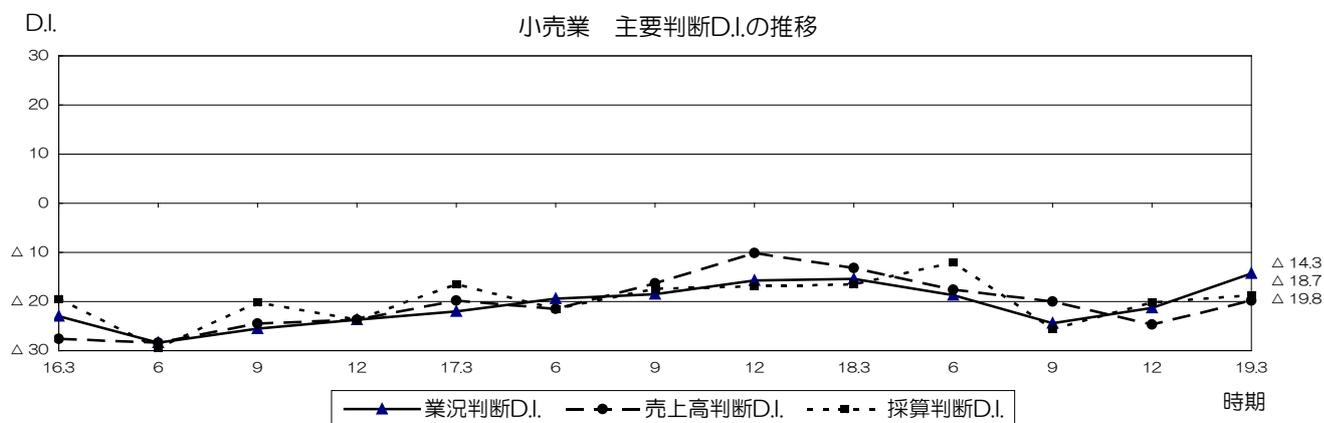
(対前年同期比判断D.I.)

今期(2019.1~3)の業況判断D.I.は $\Delta 14.3$ と、前期(2018.10~12)との比較で7.0ポイント改善しているほか、売上高、資金繰り、採算の項目で前期を上回っています。

全国調査との比較では、業況判断D.I.で全国調査の $\Delta 32.2$ を17.9ポイント上回っているほか、仕入単価以外の項目で全国調査の判断D.I.を上回る結果となりました。

来期(2019.4~6)の業況判断D.I.は $\Delta 9.9$ と、今期(2019.1~3)との比較で4.4ポイント改善を予想しているほか、全ての項目で今期を上回ると予想しています。

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 21.3$	$\Delta 14.3$	$\Delta 32.2$	$\Delta 9.9$
売 上 高	$\Delta 24.7$	$\Delta 19.8$	$\Delta 33.6$	$\Delta 14.3$
資 金 繰 り	$\Delta 16.9$	$\Delta 13.2$	$\Delta 22.8$	$\Delta 7.7$
採 算	$\Delta 20.2$	$\Delta 18.7$	$\Delta 31.7$	$\Delta 13.2$
売上単価	$\Delta 9.0$	$\Delta 14.3$	$\Delta 24.5$	$\Delta 11.0$
仕入単価	25.8	11.0	20.1	17.6
在庫数量	0.0	$\Delta 6.6$	$\Delta 20.5$	0.0
従業員増減	$\Delta 2.3$	$\Delta 2.3$	$\Delta 6.4$	2.3



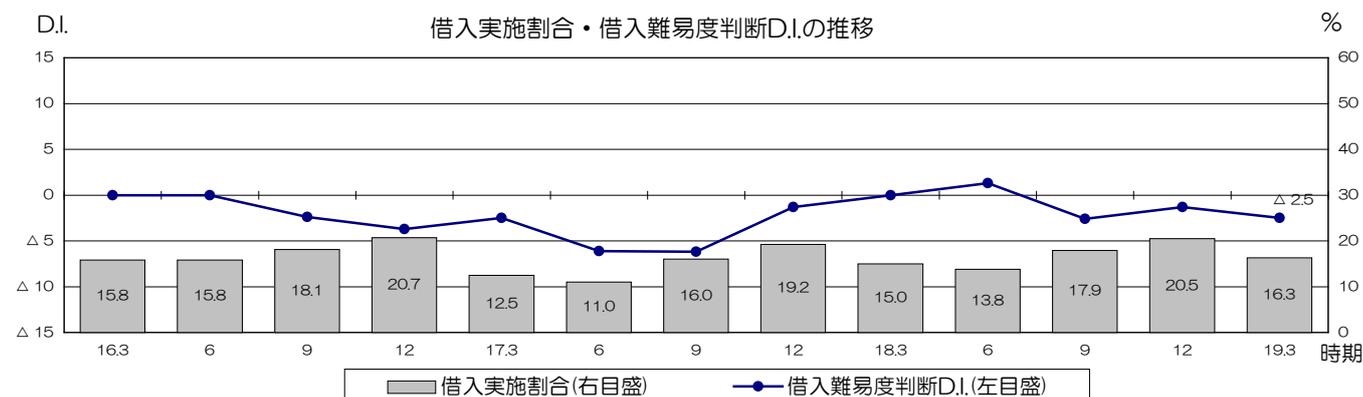
2. 借入金の状況

今期(2019.1~3)借入を実施した企業の割合は16.3%と、前期(2018.10~12)と比較して4.2ポイント減少しました。

来期(2019.4~6)借入を予定する企業の割合は10.0%と、今期(2019.1~3)と比較して6.3ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断D.I.は今期(2019.1~3) $\Delta 2.5$ と、前期(2018.10~12)との比較では1.2ポイント悪化しています。

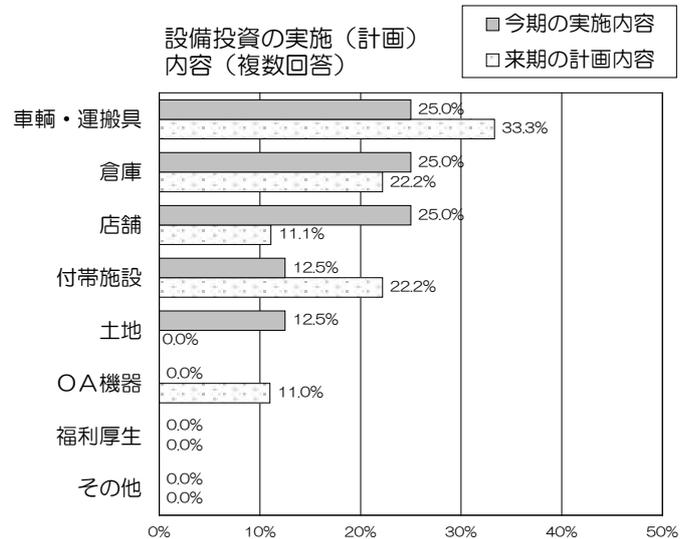
	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	20.5%	16.3%	10.0%
借入難易度判断D.I.	$\Delta 1.3$	$\Delta 2.5$	



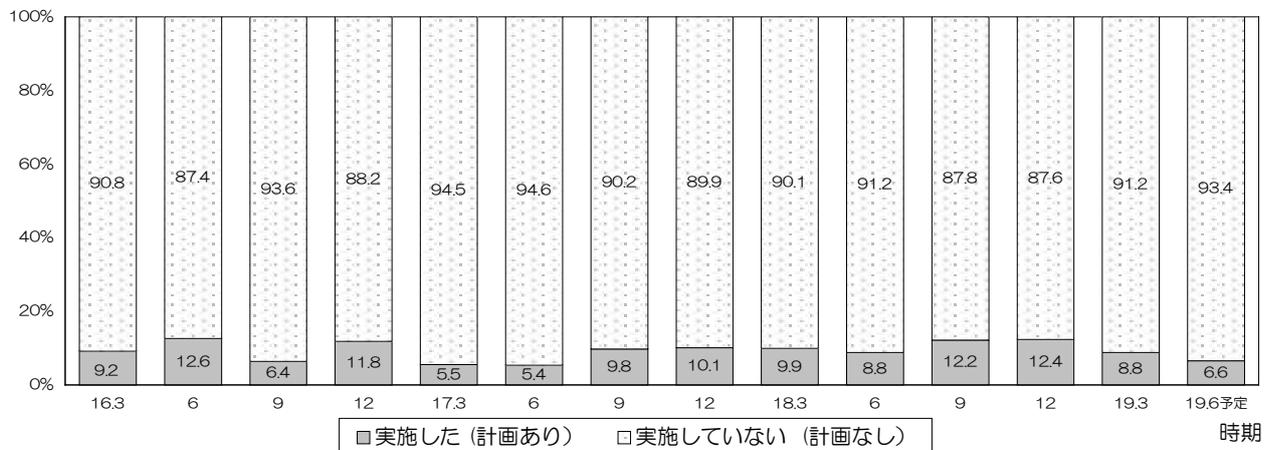
3. 設備投資の状況

今期（2019.1～3）設備投資を実施した企業の割合は8.8%と、前期（2018.10～12：12.4%）との比較で3.6ポイント減少しました。設備投資の内訳は、車輛・運搬具、倉庫、店舗が各々25.0%、付帯施設、土地が各々12.5%でした。

来期（2019.4～6）設備投資を計画する企業の割合は6.6%と、今期（2019.1～3）と比較して2.2ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、車輛・運搬具が33.3%、倉庫、付帯施設が各々22.2%、店舗、OA機器が各々11.1%となっています。



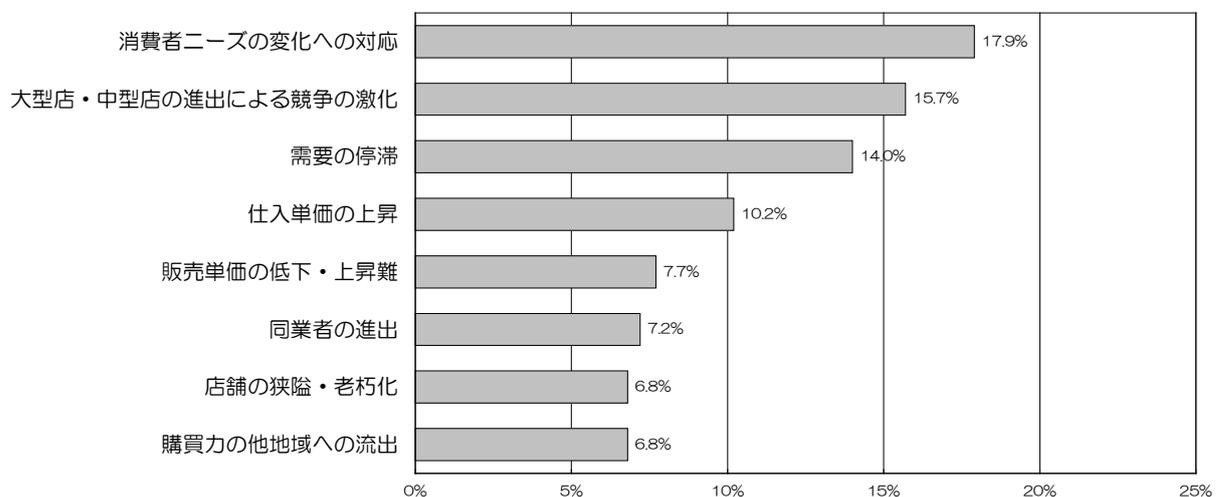
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で17.9%、第2位が「大型店・中型店の進出による競争の激化」で15.7%、第3位が「需要の停滞」で14.0%、第4位が「仕入単価の上昇」で10.2%、第5位が「販売単価の低下・上昇難」で7.7%、第6位が「同業者の進出」で7.2%、第7位が「店舗の狭隘・老朽化」「購買力の他地域への流出」で各々6.8%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



1. 業況

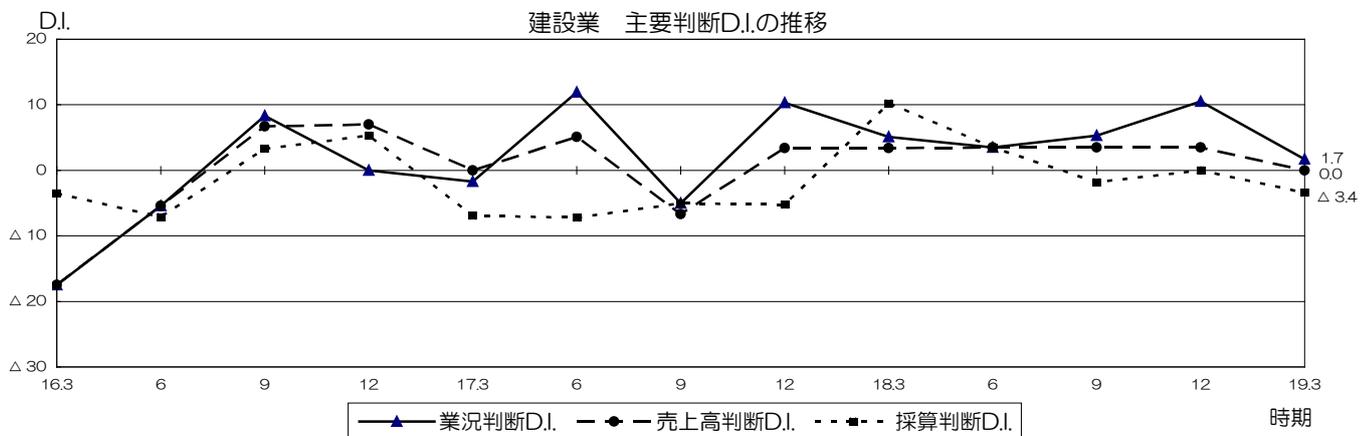
今期 (2019.1~3) の業況判断 D.I. は 1.7 と、前期 (2018.10~12) との比較で 8.8 ポイント悪化しているほか、従業員増減以外の項目で前期を下回っています。

全国調査との比較では、業況判断 D.I. で全国調査の $\Delta 4.3$ を 6.0 ポイント上回っているほか、材料単価以外の項目で全国調査の判断 D.I. を上回る結果となりました。

来期 (2019.4~6) の業況判断 D.I. は 3.4 と、今期 (2019.1~3) との比較で 1.7 ポイント改善を予想しているほか、売上高、受注額の項目で今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	10.5	1.7	$\Delta 4.3$	3.4
売上高	3.5	0.0	$\Delta 4.4$	10.2
資金繰り	8.8	5.1	$\Delta 2.6$	1.7
採 算	0.0	$\Delta 3.4$	$\Delta 11.9$	$\Delta 3.4$
受 注 額	12.3	$\Delta 1.7$	$\Delta 5.5$	0.0
材料単価	28.1	22.0	42.8	20.3
従業員増減	$\Delta 3.5$	$\Delta 1.7$	$\Delta 3.1$	$\Delta 8.5$



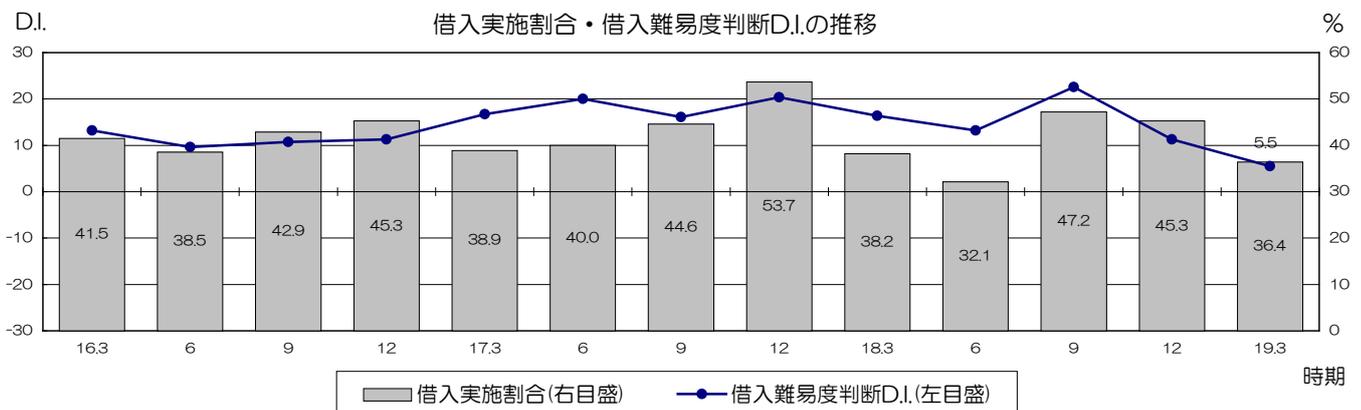
2. 借入金の状況

今期 (2019.1~3) 借入を実施した企業の割合は 36.4% と、前期 (2018.10~12) と比較して 8.9 ポイント減少しました。

来期 (2019.4~6) 借入を予定する企業の割合は、今期と変わらない見込みです。

借入難易度判断 D.I. は今期 (2019.1~3) 5.5 と、前期 (2018.10~12) との比較では 5.8 ポイント悪化しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	45.3%	36.4%	36.4%
借入難易度判断 D.I.	11.3	5.5	



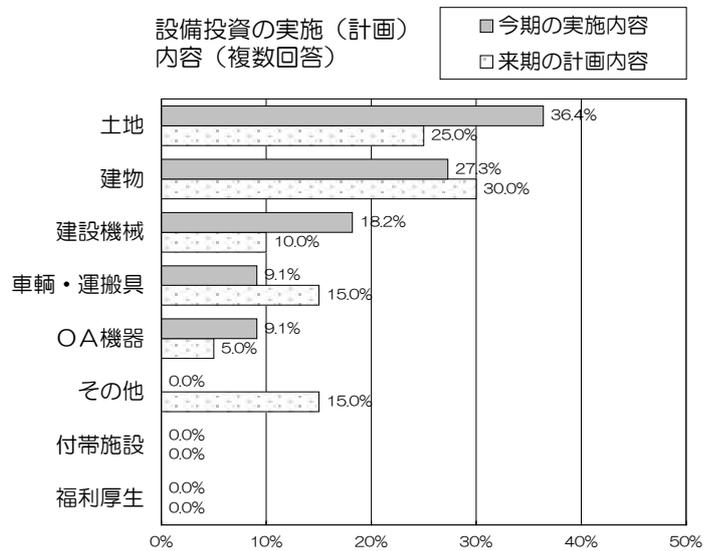
3. 設備投資の状況

今期（2019.1～3）設備投資を実施した企業の割合は13.6%と、前期（2018.10～12：14.0%）との比較で0.4ポイント減少しました。

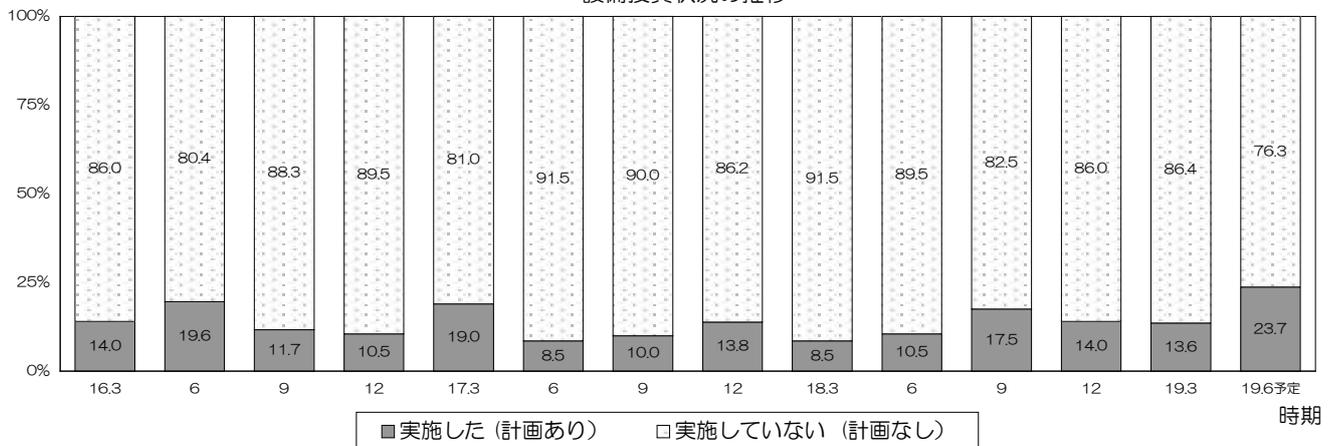
設備投資の内訳は、土地が36.4%、建物が27.3%、建設機械が18.2%、車輛・運搬具、OA機器が各々9.1%でした。

来期（2019.4～6）設備投資を計画する企業の割合は23.7%と、今期（2019.1～3）との比較で10.1ポイント増加する見込みです。設備投資の内訳は、建物が30.0%、土地が25.0%、車輛・運搬具、その他が各々15.0%、建設機械が10.0%、OA機器が5.0%となっています。

設備投資の実施（計画）内容（複数回答）



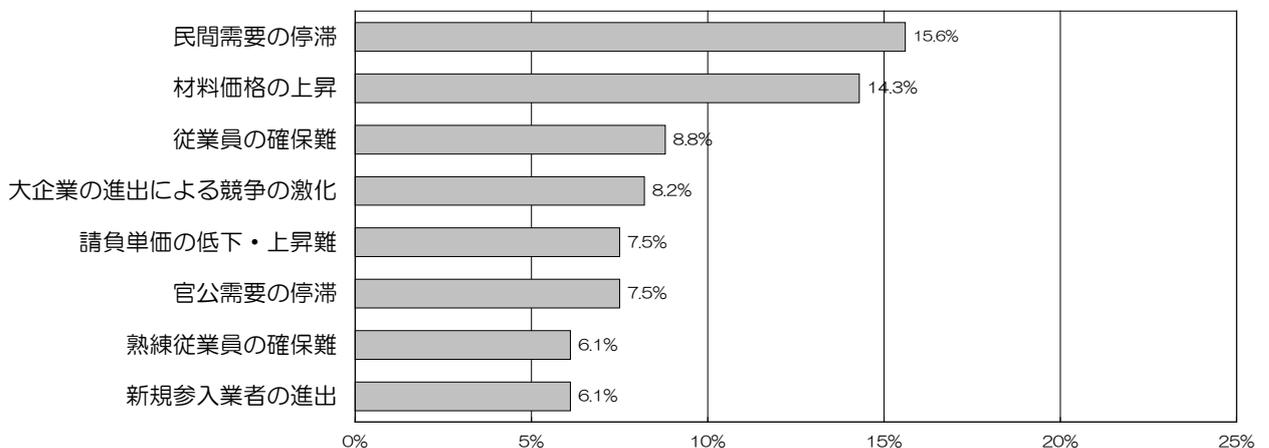
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

経営上の問題点は、第1位が「民間需要の停滞」で15.6%、第2位が「材料価格の上昇」で14.3%、第3位が「従業員の確保難」で8.8%、第4位が「大企業の進出による競争の激化」で8.2%、第5位が「請負単価の低下・上昇難」「官公需要の停滞」で各々7.5%、第6位が「熟練従業員の確保難」「新規参入業者の進出」で各々6.1%という結果になりました。

今期直面している経営上の問題点（複数回答）



サービス業

2019.1~3 月期 (回答 80 社・・・回答率 93.0%)

1. 業況

今期 (2019.1~3) の業況判断 D.I.は $\Delta 5.0$ と、前期 (2018.10~12) との比較で 2.5 ポイント悪化しているものの、売上高、客単価、従業員増減の項目では前期を上回っています。

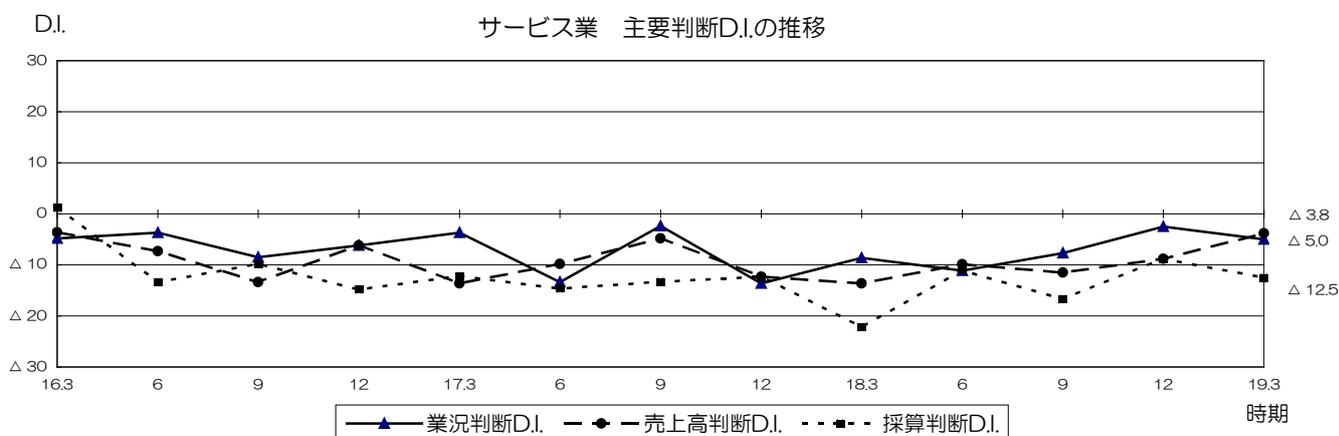
全国調査との比較では、業況判断 D.I.で全国調査の $\Delta 18.5$ を 13.5 ポイント上回っているほか、客単価、仕入単価以外の項目で全国調査の判断 D.I.を上回っています。

来期 (2019.4~6) の業況判断 D.I.は $\Delta 5.0$ と、

今期 (2019.1~3) と変わらないと予想しているほか、売上高、従業員増減を除く項目で、横這いまたは今期を上回ると予想しています。

(対前年同期比判断 D.I.)

	前 期	今 期	全国調査	来期見通し
業 況	$\Delta 2.5$	$\Delta 5.0$	$\Delta 18.5$	$\Delta 5.0$
売 上 高	$\Delta 8.8$	$\Delta 3.8$	$\Delta 17.4$	$\Delta 6.3$
資 金 繰 り	$\Delta 3.8$	$\Delta 3.8$	$\Delta 14.5$	$\Delta 2.5$
採 算	$\Delta 8.8$	$\Delta 12.5$	$\Delta 22.5$	$\Delta 6.3$
客 単 価	$\Delta 12.5$	$\Delta 10.0$	$\Delta 7.5$	$\Delta 10.0$
仕 入 単 価	20.3	18.8	33.4	18.8
従 業 員 増 減	$\Delta 2.6$	3.8	$\Delta 6.1$	$\Delta 1.3$



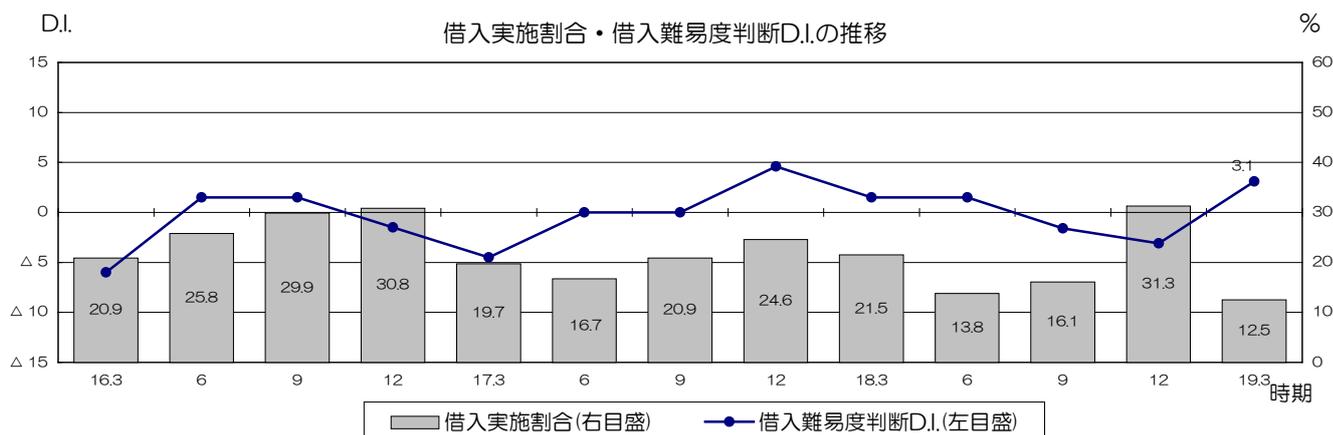
2. 借入金の状況

今期 (2019.1~3) 借入を実施した企業の割合は 12.5%と、前期 (2018.10~12) と比較して 18.8 ポイント減少しました。

来期 (2019.4~6) 借入を予定する企業の割合は 4.7%と、今期 (2019.1~3) と比較して 7.8 ポイント減少する見込みです。

借入難易度判断 D.I.は今期 (2019.1~3) 3.1 と、前期 (2018.10~12) との比較では 6.2 ポイント改善しています。

	前 期	今 期	来 期 予 定
借入実施割合	31.3%	12.5%	4.7%
借入難易度判断 D.I.	$\Delta 3.1$	3.1	

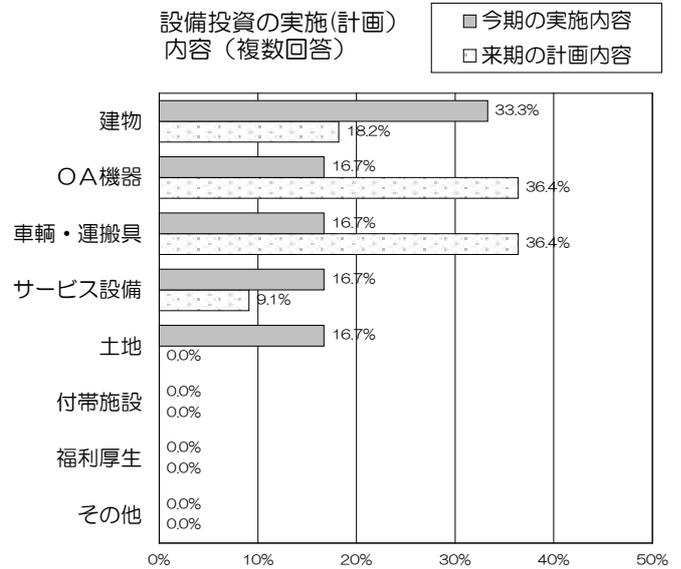


3. 設備投資の状況

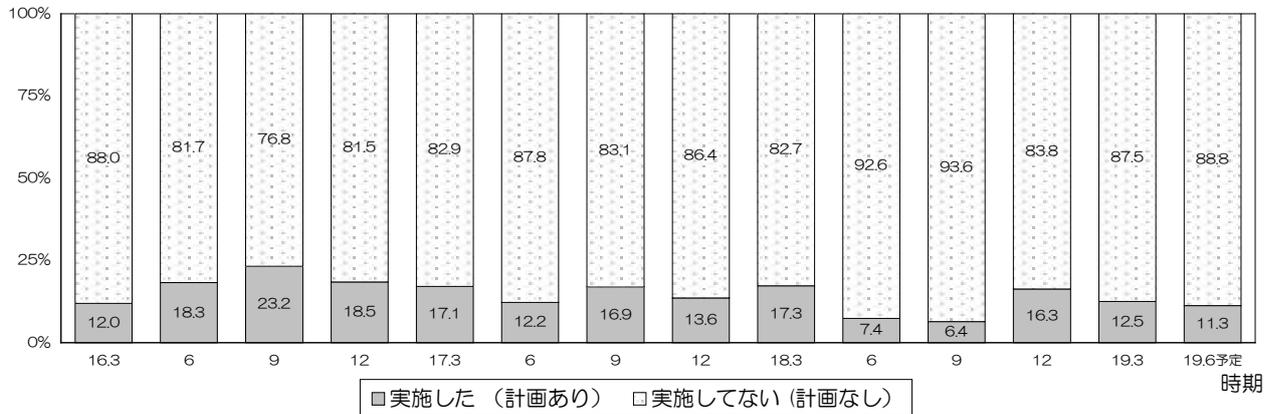
今期（2019.1～3）設備投資を実施した企業の割合は12.5%と、前期（2018.10～12：16.3%）との比較で3.8ポイント減少しました。設備投資の内訳は、建物が33.3%、OA機器、車輛・運搬具、サービス設備、土地が各々16.7%でした。

来期（2019.4～6）設備投資を計画する企業の割合は11.3%と、今期（2019.1～3）と比較して1.2ポイント減少する見込みです。設備投資の内訳は、OA機器、車輛・運搬具が各々36.4%、建物が18.2%、サービス設備が9.1%となっています。

設備投資の実施（計画）内容（複数回答）



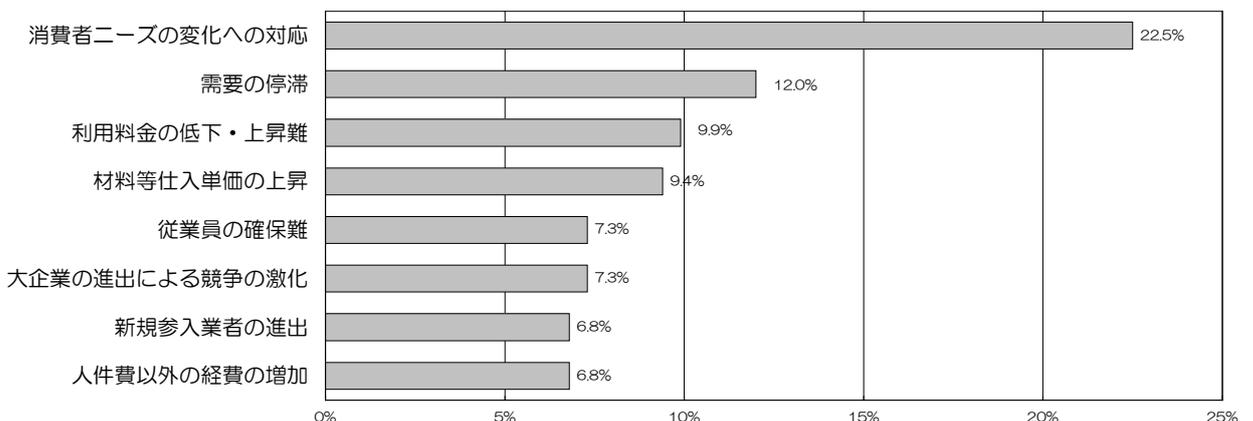
設備投資状況の推移



4. 経営上の問題点

主な経営上の問題点は、第1位が「消費者ニーズの変化への対応」で22.5%、第2位が「需要の停滞」で12.0%、第3位が「利用料金の低下・上昇難」で9.9%、第4位が「材料等仕入単価の上昇」で9.4%、第5位が「従業員の確保難」「大企業の進出による競争の激化」で各々7.3%、第6位が「新規参入業者の進出」「人件費以外の経費の増加」で各々6.8%という結果になりました。

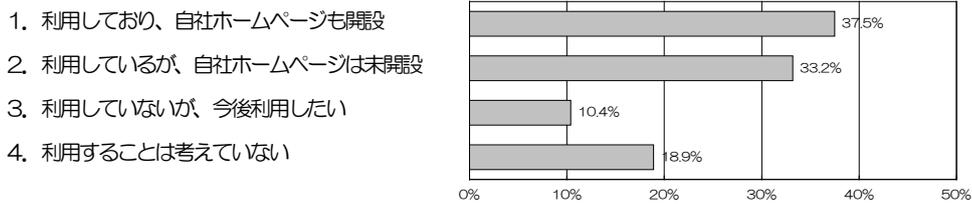
今期直面している経営上の問題点（複数回答）



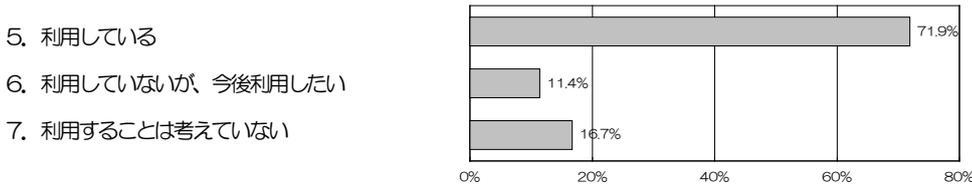
「 中小企業におけるインターネット利用と キャッシュレスへの対応について 」

問1 貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。以下の1～4の中から1つ選んでお答えください。また、同様に事業上で電子メールを使用していますか。あてはまるものを以下の5～7の中から1つ選んでお答えください。

＜インターネットの利用＞

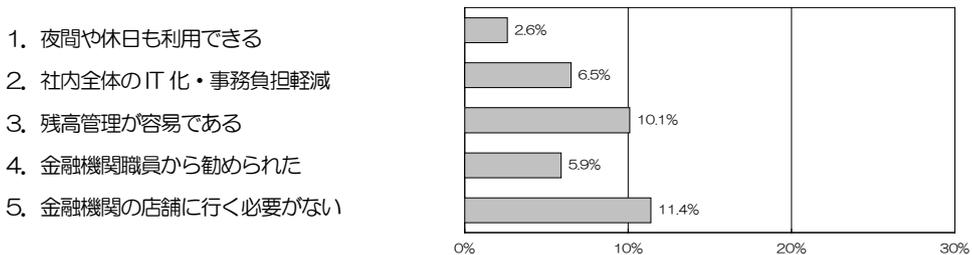


＜電子メールの利用＞

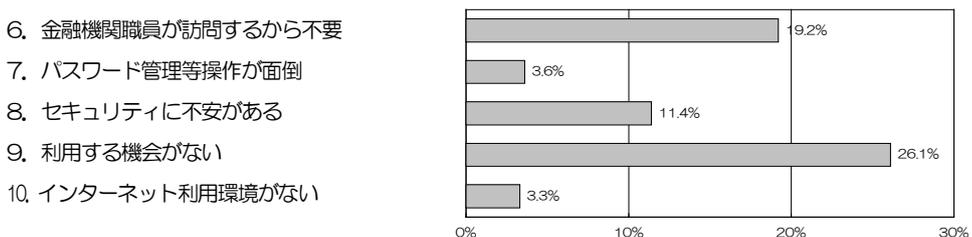


問2 貴社では、インターネットバンキングを利用していますか。利用している方は、利用している主な理由を1～5の中から1つ選んでお答えください。利用していない方は、利用していない主な理由を6～10の中から1つ選んでお答えください。

＜インターネットバンキングを利用している＞



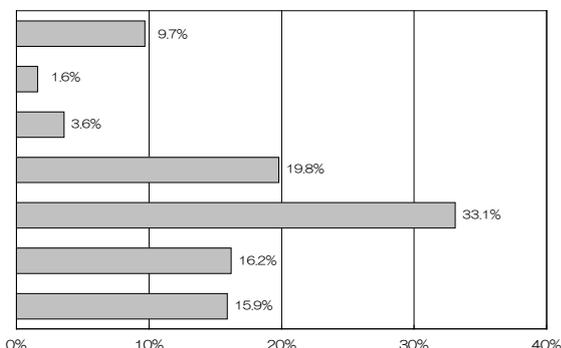
＜インターネットバンキングを利用していない＞



問3 2019年10月予定の消費税率引上げにあたって、政府はキャッシュレス決済をすればポイント還元することを検討しています。こうしたキャッシュレス決済を推進する政府の姿勢に対して、貴社ではキャッシュレスについてどのような対応を考えていますか。以下の1~7のうち最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。

<キャッシュレスについての対応>

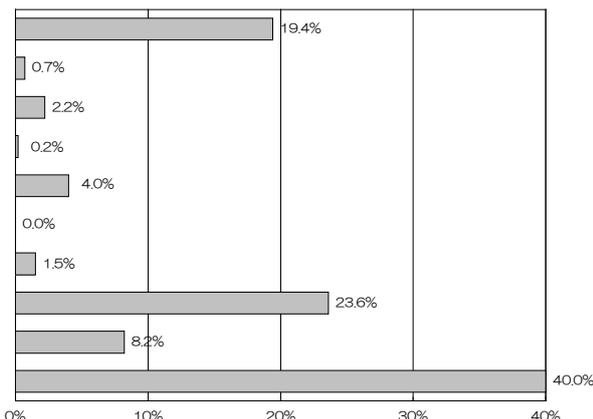
1. 既に導入している
2. 導入予定である
3. 現在、導入を検討している
4. 今後、導入を検討している
5. 導入する必要がない
6. そもそも関心がない・関係がない
7. わからない



問4 貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。主に活用しているキャッシュレス支払手段を以下の1~9の中から3つ以内で選んでお答えください。活用していない方は10とお答えください。

<現在のキャッシュレス支払手段の活用>

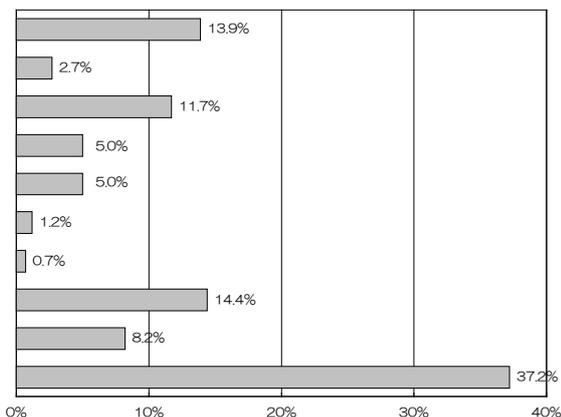
1. クレジットカード
2. デビットカード
3. スマートフォンによるQRコード決済
4. スマートフォンによるバーコード収納
5. 電子マネー（交通系・流通系）
6. デジタル通貨（地域電子通貨・仮想通貨）
7. プリペイドカード
8. 口座振替（自動引落）サービス
9. 電子記録債権（でんさい等）
10. 活用していない・関係ない



問5 貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、今後ともさらに活用していきたい、もしくは今後活用をしたいと考えているキャッシュレス支払手段はありますか。以下の1~9の中から3つ以内で選んでお答えください。関心のない方は10とお答えください。

<今後活用したいキャッシュレス支払手段>

1. クレジットカード
2. デビットカード
3. スマートフォンによるQRコード決済
4. スマートフォンによるバーコード収納
5. 電子マネー（交通系・流通系）
6. デジタル通貨（地域電子通貨・仮想通貨）
7. プリペイドカード
8. 口座振替（自動引落）サービス
9. 電子記録債権（でんさい等）
10. まったく関心がない・関係がない



集計結果 (2019. 1~3月期)

(単位：%)

		今期の状況								来期見通し			
		対前年同期比				対前期比				対前年同期比			
		良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.	良い	不変	悪い	D.I.
全業種	業況	11.2	74.7	14.2	△ 3.0	8.4	77.4	14.2	△ 5.7	12.0	73.6	14.4	△ 2.5
	売上	15.0	65.9	19.1	△ 4.1	11.2	67.6	21.3	△ 10.1	14.7	68.7	16.6	△ 1.9
	資金繰り	6.5	83.1	10.4	△ 3.8	4.6	85.8	9.5	△ 4.9	6.8	84.5	8.7	△ 1.9
	採算	5.4	79.6	15.0	△ 9.5					6.8	79.3	13.9	△ 7.1
	従業員増減	8.5	83.6	7.9	0.5					7.2	87.3	5.5	1.7
	借入難易度					9.1	82.3	8.5	0.6				
製造業	業況	15.3	73.9	10.8	4.5	5.4	80.2	14.4	△ 9.0	16.2	67.6	16.2	0.0
	売上	18.9	65.8	15.3	3.6	8.1	72.1	19.8	△ 11.7	19.8	64.9	15.3	4.5
	資金繰り	9.9	79.3	10.8	△ 0.9	6.3	83.8	9.9	△ 3.6	11.7	78.4	9.9	1.8
	採算	7.2	81.1	11.7	△ 4.5					9.9	75.7	14.4	△ 4.5
	原材料単価	17.1	82.9	0.0	17.1					17.1	82.0	0.9	16.2
	原材料在庫	2.7	88.3	9.0	△ 6.3					0.9	94.6	4.5	△ 3.6
	従業員増減	11.7	80.2	8.1	3.6					12.6	82.9	4.5	8.1
	設備操業率	9.0	82.0	9.0	0.0					12.6	79.3	8.1	4.5
	借入難易度					11.3	76.3	12.4	△ 1.0				
卸売業	業況	7.7	84.6	7.7	0.0	15.4	80.8	3.8	11.5	15.4	76.9	7.7	7.7
	売上	19.2	69.2	11.5	7.7	15.4	69.2	15.4	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0
	資金繰り	3.8	88.5	7.7	△ 3.8	3.8	88.5	7.7	△ 3.8	3.7	88.9	7.4	△ 3.7
	採算	3.8	88.5	7.7	△ 3.8					0.0	92.3	7.7	△ 7.7
	売上単価	7.7	84.6	7.7	0.0					3.8	88.5	7.7	△ 3.8
	仕入単価	19.2	80.8	0.0	19.2					19.2	80.8	0.0	19.2
	在庫数量	11.5	80.8	7.7	3.8					7.7	84.6	7.7	0.0
	従業員増減	7.7	92.3	0.0	7.7					7.7	88.5	3.8	3.8
	借入難易度					4.8	90.5	4.8	0.0				
小売業	業況	6.6	72.5	20.9	△ 14.3	4.4	74.7	20.9	△ 16.5	9.9	70.3	19.8	△ 9.9
	売上	6.6	67.0	26.4	△ 19.8	6.6	63.7	29.7	△ 23.1	7.7	70.3	22.0	△ 14.3
	資金繰り	3.3	80.2	16.5	△ 13.2	2.2	84.6	13.2	△ 11.0	4.4	83.5	12.1	△ 7.7
	採算	4.4	72.5	23.1	△ 18.7					5.5	75.8	18.7	△ 13.2
	売上単価	5.5	74.7	19.8	△ 14.3					6.6	75.8	17.6	△ 11.0
	仕入単価	16.5	78.0	5.5	11.0					19.8	78.0	2.2	17.6
	在庫数量	4.4	84.6	11.0	△ 6.6					5.5	89.0	5.5	0.0
	従業員増減	3.4	90.8	5.7	△ 2.3					3.4	95.4	1.1	2.3
	借入難易度					7.5	82.5	10.0	△ 2.5				
建設業	業況	11.9	78.0	10.2	1.7	8.5	84.7	6.8	1.7	10.2	83.1	6.8	3.4
	売上	16.9	66.1	16.9	0.0	10.2	78.0	11.9	△ 1.7	22.0	66.1	11.9	10.2
	資金繰り	6.8	91.5	1.7	5.1	5.1	93.2	1.7	3.4	5.1	91.5	3.4	1.7
	採算	5.1	86.4	8.5	△ 3.4					6.8	83.1	10.2	△ 3.4
	受注額	15.3	67.8	16.9	△ 1.7					11.9	76.3	11.9	0.0
	材料単価	22.0	78.0	0.0	22.0					20.3	79.7	0.0	20.3
	従業員増減	10.2	78.0	11.9	△ 1.7					6.8	78.0	15.3	△ 8.5
	借入難易度					10.9	83.6	5.5	5.5				
サービス業	業況	11.3	72.5	16.3	△ 5.0	15.0	70.0	15.0	0.0	8.8	77.5	13.8	△ 5.0
	売上	16.3	63.8	20.0	△ 3.8	20.0	57.5	22.5	△ 2.5	12.5	68.8	18.8	△ 6.3
	資金繰り	6.3	83.8	10.0	△ 3.8	5.0	83.8	11.3	△ 6.3	5.0	87.5	7.5	△ 2.5
	採算	5.0	77.5	17.5	△ 12.5					6.3	81.3	12.5	△ 6.3
	客単価	3.8	82.5	13.8	△ 10.0					3.8	82.5	13.8	△ 10.0
	仕入単価	21.3	76.3	2.5	18.8					21.3	76.3	2.5	18.8
	従業員増減	7.6	88.6	3.8	3.8					3.8	91.1	5.1	△ 1.3
	借入難易度					7.8	87.5	4.7	3.1				

伊勢崎佐波地区 景気動向調査 No.64

発行 伊勢崎商工会議所 経営支援課

群馬県伊勢崎市昭和町3919

TEL0270-24-2211

<http://www.isesaki-ccior.jp>

アイオー信用金庫 経営企画部

群馬県伊勢崎市中央町20番17号

TEL0270-30-5001

<http://www.io-web.jp>

このレポートは、調査時点における当金庫及び当商工会議所の見解をまとめたもので、情報提供を目的としております。また、当金庫及び当商工会議所が信頼できると判断した情報やデータに基づいてこの資料は作成しておりますが、この情報の正確性・安全性等について当金庫及び当商工会議所が保証するものではありません。

このレポートの活用に関しては何の制限もございませんが、施策の決定や実行などの最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。